

市民建産常任委員会

平成28年12月1日

委員長 高原 伸二

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、平成28年10月31日、11月4日に、関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

市民部

市民国保課（62分）

所管事務調査の前に、9月27日に子ども医療証を誤送付した件について説明がありました。今後は他市町村等事例を研究、検討しながら再発防止に努めたいとのこと。

市民係より、人口等について、外国人国籍別人口について、個人番号カード等の交付状況について報告がありました。

年金・医療係より、国民年金、後期高齢者医療、重度障害者医療、ひとり親家庭等医療、乳幼児・子ども医療について報告があり、続いて国民健康保険世帯数・被保険者数等の報告がありました。

委員から、個人番号カードの申請率はどのぐらいかとの問いに、申請件数は4550件となっており、申請率8%弱とのこと。

市民国保課の窓口対応が悪いという苦情を聞いたがとの問いに、職員の接遇に関してはきちんと課内、係内で検証を行っていくとのこと。

医療費の推移等、把握する責任部署は市民国保課だと認識しているがとの問いに、医療費の推移、抑制目標についても、市民国保課が中心となって行っていきたいとのこと。

市税課（24分）

市民税係より、個人住民税特別徴収の適正化実施の取り組みについて、平成27年度からアクションプランを作成、平成28年10月24日に対象の事業所に対して、一斉指定予告通知を1797件送付とのこと。

資産税係より、固定資産税の償却資産の取り組みについて、県内の市町村に、償却資産を適正に捕捉するための研修が県主催で行われており、古賀市は参加して3年目になるとのこと。

委員から、個人住民税の特別徴収について、未実施のところをなくすことが方針か、その際に留意すべき点、考慮しなければいけない対策はとの問いに、未実施の事業所をなくすためと、条件に当てはまる所得税を引かれているパートでも実施し、初年度なので個別に制度の説明などを、収納管理課とも連携しながらやっていくとのこと。

収納管理課（12分）

収納管理係より、平成28年度市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の9月末日現在の収納状況について、次に、現年度分の市民税、固定資産税、軽自動車税、の収納率、滞納繰越分について、続いて、国民健康保険税の収納率、滞納繰越分について、次に、後期高齢者医療保険料の収納率、滞納繰越分について報告がありました。平成28年度滞納処分状況については、4月から9月までの差押え件数357件、ファイナンシャルプランナーの相談実績37件、弁護士相談2件、搜索実績4件、動産の差押え3回、合同公売会1回、期間入札公売会1回の実施等の報告がありました。

委員から、国保税改定の影響はとの問いに、収納率が前年より幾分低くなっているが、賦課する

金額が上がった年は、一般的に徴収率が幾らか下がる傾向になっているとのこと。

人権センター（15分）

人権教育・啓発係より、古賀市の人権尊重週間は12月4日から10日までとのこと。次に、人権尊重推進委員会（第1、第3、第4部会）の取り組みについて、いのち輝くまち☆こが2016について、続いて、古賀市社会同和教育推進協議会の取り組みについて等の報告がありました。相談事業では家事、民事、その他を含め33件の相談があったとのこと。その他として、出前講座について、人権の花運動についての報告がありました。

環境課（38分）

環境整備係より、環境課の主な事業として、環境報告書、ぐりんぐりん古賀、グリーンカーテン匠事業、地球温暖化防止推進事業等について報告があり、最後に畜犬について、平成28年度9月末現在3301頭の登録があり、注射頭数は1913頭で注射率は58%とのこと。

ごみ対策係より、循環型社会形成推進事業についてとバイオマス発電について報告がありました。

海津木苑より、平成28年度海津木苑処理状況について、処理の経費は1296万2991円で、1キロリットル当たり2307円等の報告がありました。次に、平成28年度海津木苑整備工事について、今年度は13機種の工事を予定しており、平成29年1月末で完了予定とのこと。続いて、海津木苑将来構想策定について、海津木苑近未来プロジェクト会議において、次期施設のし尿処理方法を検討する選定補足資料のまとめ作業を進めていきたいとのこと。

委員から、市内でどのくらいの飼い主がいない猫がいるのかとの問いに、飼い主のいない猫は、把握していないとのこと。

今のうちから古賀市内の動物病院に働きかけるということも大事になってくるのではとの問いに、今後地域猫活動に関しては、動物病院とも連携して進めなければならないとのこと。

バイオマス発電について、今回採択が大幅におくれたがスケジュールについての見通しはどの問いに、まだ補助金の交付申請をしている段階で、交付決定がおりた時点からの事業着手になり、今、事業に着手することはできないが、スケジュールを円滑に進めるように事業を進めているとのこと。

建設産業部

都市計画課（64分）

開発指導係より、空き家空き地対策事業について、古賀市空き家等対策協議会、空き家空き地バンクの運用状況についての説明がありました。次に、高田地区地区計画の変更について、B地区商業ゾーンの一部、約0.9ヘクタールをC地区住宅ゾーンへ区域変更を行うとのこと。続いて、高田土地区画整理事業の進捗状況について、B地区4.3ヘクタールのうち、約1.6ヘクタールはオリックス株式会社と借地の契約、0.9ヘクタールは住宅メーカーへの売却が決定とのこと。

土地利用政策係より、景観計画策定事務について、株式会社福山コンサルタントと、8月31日付けで委託契約を締結したとのこと。契約金額は1931万9040円、契約期間は平成28年9月1日から平成31年3月29日までとのこと。

都市計画係より、花見東地区公園整備事業について、予定どおり80%の工事が終了しているとのこと。花見東地区公園遊戯施設設置工事は完了しており、近日中に検査予定とのこと。高田地区画整理事業地の町名変更について、3月議会に町名変更の議案を提案予定とのこと。続いて、古賀市都市計画審議会の開催について報告がありました。

委員から、古賀市空き家等対策協議会について、庁内での連絡協議会はどの問いに、環境課、市税課、収納管理課、経営企画課、コミュニティ推進課、管財課、総務課のメンバーで構成し、今後お

互いの情報を持ち寄って、連携して取り組むとのこと。

特定空家等の判断基準の確定と指定作業はいつから入るのかとの問いに、特定空家等の候補自体は年度内に内定し、指定は4月以降とのこと。

福津市や宗像市とスマートインターチェンジについて、8月に協議するという報告であったがその経緯はどの問いに、事務方レベルでの協議に終わっており、具体的な進捗はないとのこと。

千鳥ヶ池公園の擬木柵の基礎まで浸食が進んでいるがどの問いに、現地調査を行い設計完了している、来年度実施を考えているとのこと。

千鳥ヶ池公園のスロープに手すりをつける方針ではなかったかとの問いに、現在、契約の手続きをしており、近日中に着手できる見込みとのこと。

建設課（54分）

土木係より、公共土木事業について、8月の委員会から変更があった内容を中心に、委託6件を含む計25ヶ所の工事について説明がありました。

管理係より、工事内容が100万円以上の県事業工事予定箇所について、8月の委員会から変更があった内容を中心に、平成28年9月末現在での事業計画及び進捗状況について計19ヶ所の説明がありました。

地籍調査係より、地籍調査事業について、前回より変更はなく境界立会が終わり、測量に入っているとのこと。

委員から、議会報告会の中で、浜大塚線道路工事が長過ぎると苦情が出ていたがどの問いに、地域住民の方々には大変御迷惑をかけており、今年度、鹿部区と日吉台区、そして花鶴ヶ丘2丁目3区に、平成29年から平成33年まで工事延長の説明会を実施しているとのこと。

浜大塚の地下歩道設置工事について、通行上の安全確保のための諸施設はどういう計画があるのかとの問いに、地下歩道完成近くに地元の意見を伺い、安全対策について考えたいとのこと。

宮地岳線跡地のその後の進捗状況はどの問いに、10月30日に古賀北区で第2回の説明会を実施。古賀西小学校の通学路対策としての案に対して反対が多い状況だが、今後も継続して話し合いたいとのこと。他の地区は、順次第2回説明会を実施するとのこと。

議会報告会で小山田、谷山の通学路を大型車が通って非常に危ないという問題と、橋の付け替えという要望書を出しているとのことだが、その対応はどの問いに、今年度用地買収を行い、来年度工事する予定の薬王寺、小山田線道路新設工事の事業を現在行っており、通学路に対しては、それが完成後（平成29年度）、通学路の交通状況を見て対策が必要であれば考えたい、橋の付け替えはしないとのこと。

下水道課（24分）

下水道係より、公共下水道事業について9件の補助事業、12件の単独事業の報告があり、続いて農業集落排水事業の補助事業として17件、単独事業は4件の報告がありました。合併処理浄化槽設置促進事業については、5人槽が11基、7人槽が3基の計14基の補助申請交付があるとのこと。

その他として、古賀水再生センター消化ガス発電事業について、古賀水再生センター消化ガス発電事業プロポーザル審査委員会にて、事業者を決定し（九電工・月島機械福岡支店・正興電機のグループ）年間推定発電量は、約130万キロワット（約360世帯分）とのこと。今後の予定は、発電設備の設計、施工を来年度中に行い、平成30年4月1日から20年間発電を行う計画とのこと。

委員から、消化ガス発電が具体化するという新聞報道がされており、その内容についてはどの問いに、発電事業者へのガス量売却と敷地の目的外使用料として、古賀市に年間500万円から700万

円の収入、グループ企業が 20 年間で 10 億円の売電収入という事業計画とのこと。

水道課（9 分）

配水係より、前回の委員会以降の委託及び工事の発注状況について、完了済みの平成 28 年度筈内配水管布設工事及び平成 28 年度中央 1 丁目配水管布設替工事等 9 件の報告がありました。

農林振興課（40 分）

農林振興係より、地産地消推進事業費関連で、農商工連携支援事業について、古賀市の PR と特産品の PR を兼ね、福岡工業大学・九州産業大学の学園祭への出店、福岡マラソン大会への出店等 15 件の報告があり、続いて林道災害復旧事業費関連で林道米多比線の工事について報告がありました。

農政係より、農業振興費関連で、農業者育成事業について報告があり、市民農園支援事業について、青柳の農振農用地 2 筆、面積は 2230 平米、予定区画数は 30 区画。開設予定時期は平成 29 年 4 月とのこと。

農林土木係より、農地費関連について、補助事業 2 件、市単独事業 3 件の報告がありました。

委員から、遊休農地利用の意向調査について、貸したいというアンケート結果が 40% に上った。貸したい人たちの意向はどの問いに、基本的には農地として耕作される方に貸し付けたいとのこと。

市民農園の 1 区画の値段はどの問いに、1 区画あたり年間 1 万円を予定とのこと。

有害鳥獣の対象と、それに対してどういう施策をしているのかとの問いに、主なものはイノシシ、シカ、それ以外にもタヌキ等の小動物、カラスなどの鳥類も対象とのこと。対策として、イノシシ、シカは電気柵による防除、カラス類は猟友会による駆除、小動物は猟友会に罠の設置等の依頼をしている。農家からの相談については、箱罠設置免許の取得について勧めているとのこと。

商工政策課（66 分）

企業支援係より、無料職業紹介所について、工業力 PR 事業（工場見学・体験事業）について、企業誘致の推進（企業情報収集業務委託）について、続いて、福岡県 70 歳現役応援センター出張相談会の開催、出張労働相談会の開催、最後に、食のまちモノづくりのまち by 古賀について報告がありました。

商業観光係より、消費生活センター（相談実績 115 件）について、ふるさと応援寄附（10 月末 682 件 1373 万 1900 円の寄附）について、次に、古賀よろず創業・経営相談窓口について、まつり古賀について、最後に、クリスマス市民祭について、12 月 11 日、日曜日に 15 時から古賀駅前憩いの広場で開催予定とのこと。

委員から、企業立地促進条例ができて、市内外含めて工場の増設、進出、それに伴う古賀市への雇用の転入がどういう形で表れているのかとの問いに、工業団地内に製造業の企業が埼玉県から本社機能移転との話が入っており、20 世帯前後が古賀市に転入見込みとの話がある。関東圏からも古賀物流団地に本社機能を移転する動きがあり、また、福岡県内でも本社を持ってくる動きが数社ほどあるとのこと。

ふるさと応援寄附の返礼品について、古賀ゴルフ・クラブの利用券を対象にしてはどうかとの問いに、検討したい、また改めて古賀ゴルフ・クラブに尋ねてみたいとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。